

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公開番号】特開2002-269072(P2002-269072A)

【公開日】平成14年9月20日(2002.9.20)

【出願番号】特願2001-68472(P2001-68472)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

B 4 1 J 5/44 (2006.01)

G 0 9 G 5/22 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/21 5 6 2 P

B 4 1 J 5/44

G 0 9 G 5/22 6 3 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 のフォントに置換する処理、第 2 のフォントに置換する処理、および置換しない処理のいずれかの処理を実施するように設定を行う設定手段と、

指定されたフォントが内蔵されていない場合、前記設定手段による設定に基づき第 1 のフォントに置換する処理、第 2 のフォントに置換する処理、および置換しない処理のいずれかの処理を行う処理手段とを有することを特徴とする文字処理装置。

【請求項 2】 前記第 1 のフォントは、日本語フォントであり、前記第 2 のフォントは、欧文フォントであることを特徴とする請求項 1 記載の文字処理装置。

【請求項 3】 前記第 1 のフォントは、ゴシックであり、前記第 2 のフォントはクーリエであることを特徴とする請求項 1 記載の文字処理装置。

【請求項 4】 前記処理手段は、指定されているフォントが内蔵されているか否かを判別する第 1 判別手段と、前記第 1 判別手段により指定されているフォントが内蔵されていると判別された場合、内蔵フォントで文字を出力させる第 1 出力手段と、前記第 1 判別手段により指定されているフォントが内蔵されていないと判別された場合、第 1 のフォントまたは第 2 のフォントに置き換えることが設定されているか否かを判別する第 2 判別手段と、前記第 2 判別手段により第 1 のフォントまたは第 2 のフォントに置き換えることが設定されていると判別された場合、置き換えることが設定されている第 1 のフォントまたは第 2 のフォントで文字を出力させる第 2 出力手段とを含むことを特徴とする請求項 1 記載の文字処理装置。

【請求項 5】 前記処理手段により置換処理されたフォントを用いて印刷を行う印刷手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の文字処理装置。

【請求項 6】 指定されているフォントが内蔵されているか否かを判別する第 1 判別ステップと、

前記第 1 判別ステップにより指定されているフォントが内蔵されていると判別された場合、内蔵フォントで文字を出力させる第 1 出力ステップと、

前記第 1 判別ステップにより指定されているフォントが内蔵されていないと判別された場合、第 1 のフォントまたは第 2 のフォントに置き換えることが設定されているか否かを

判別する第 2 判別ステップと、

前記第 2 判別ステップにより第 1 のフォントまたは第 2 のフォントに置き換えることが設定されていると判別された場合、置き換えることが設定されている第 1 のフォントまたは第 2 のフォントで文字を出力させる第 2 出力ステップとを有することを特徴とする文字処理方法。

【請求項 7】 第 1 のフォントに置換する処理、第 2 のフォントに置換する処理、および置換しない処理のいずれかの処理を実施するように設定を行う設定ステップを有することを特徴とする請求項 6 記載の文字処理方法。

【請求項 8】 前記第 2 判別ステップにより第 1 のフォントまたは第 2 のフォントに置き換えることが設定されていないと判別された場合、エラー処理を行うステップを有することを特徴とする請求項 6 記載の文字処理方法。

【請求項 9】 前記第 1 のフォントは、日本語フォントであり、前記第 2 のフォントは、欧文フォントであることを特徴とする請求項 6 記載の文字処理方法。

【請求項 10】 前記第 1 のフォントは、ゴシックであり、前記第 2 のフォントはクーリエであることを特徴とする請求項 6 記載の文字処理方法。

【請求項 11】 指定されているフォントが内蔵されているか否かを判別する第 1 判別ステップと、

前記第 1 判別ステップにより指定されているフォントが内蔵されていると判別された場合、内蔵フォントで文字を出力させる第 1 出力ステップと、

前記第 1 判別ステップにより指定されているフォントが内蔵されていないと判別された場合、第 1 のフォントまたは第 2 のフォントに置き換えることが設定されているか否かを判別する第 2 判別ステップと、

前記第 2 判別ステップにより第 1 のフォントまたは第 2 のフォントに置き換えることが設定されていると判別された場合、置き換えることが設定されている第 1 のフォントまたは第 2 のフォントで文字を出力させる第 2 出力ステップとをコンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータ可読のプログラム。

【請求項 12】 第 1 のフォントに置換する処理、第 2 のフォントに置換する処理、および置換しない処理のいずれかの処理を実施するように設定を行う設定ステップをコンピュータに実行させることを特徴とする請求項 11 記載のコンピュータ可読のプログラム。

【請求項 13】 前記第 2 判別ステップにより第 1 のフォントまたは第 2 のフォントに置き換えることが設定されていないと判別された場合、エラー処理を行うステップをコンピュータに実行させることを特徴とする請求項 11 記載のコンピュータ可読のプログラム。

【請求項 14】 前記第 1 のフォントは、日本語フォントであり、前記第 2 のフォントは、欧文フォントであることを特徴とする請求項 11 記載のコンピュータ可読のプログラム。

【請求項 15】 前記第 1 のフォントは、ゴシックであり、前記第 2 のフォントはクーリエであることを特徴とする請求項 11 記載のコンピュータ可読のプログラムを記憶する記憶媒体。

【請求項 16】 指定されているフォントが内蔵されているか否かを判別する第 1 判別ステップと、

前記第 1 判別ステップにより指定されているフォントが内蔵されていると判別された場合、内蔵フォントで文字を出力させる第 1 出力ステップと、

前記第 1 判別ステップにより指定されているフォントが内蔵されていないと判別された場合、第 1 のフォントまたは第 2 のフォントに置き換えることが設定されているか否かを判別する第 2 判別ステップと、

前記第 2 判別ステップにより第 1 のフォントまたは第 2 のフォントに置き換えることが設定されていると判別された場合、置き換えることが設定されている第 1 のフォントまたは第 2 のフォントで文字を出力させる第 2 出力ステップとをコンピュータに実行させるこ

とを特徴とするコンピュータ可読のプログラム。

【請求項 17】 請求項 11 乃至 16 いずれかに記載のコンピュータ可読のプログラムを記憶した記憶媒体。